

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 097	提案機関名 かながわ西湘農業協同組合
要望問題名 新規作物の栽培検討について	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 かながわ西湘では、ミニトウガンや赤毛瓜、剉柑などを第1次地域農業振興計画で検討し、一部導入を始めた。次期計画である第2次地域農業振興計画では、 ①簡易施設の導入推進 ②県内育成品種・地域在来種の推進 ③有害鳥獣被害の少ない作物導入 を掲げている。 既にミニトウガンについては、試験をして頂いているが、神奈川県西部での気候状況で省力的で簡易に栽培することができ、鳥獣害にあわず、高収入の見込める直売所・共販用新規作物の検討と試験を願いたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部野菜作物県研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	野菜類に新品種育成、優良種苗の特性検定試験、野菜類における安定生産技術の開発		
対応の内容等	ご指摘のとおり、新規作物の検討は重要な課題と考えられます。当所では、これまでネギ品種「湘南一本」をはじめとして、新規性に富む新品種の育成に取り組んできました。簡易施設の活用については、青切りタマネギのトンネル栽培体系を構築してきました。また、「弥一」の様に、収集した遺伝資源を維持する中から、地域での取り組みの核となった種苗を提供することができました。 これからも、「特徴的な品種育成」をキーワードとして新規作物を検討していきます。関連情報等ありましたら、提供をお願いします。 なお、省力的で簡易に栽培できる作物は生産過剰につながる可能性もあるため、気候状況や鳥獣については地域で解決すべき課題が存在しますので、御協力をお願いします。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			